



▲収集場に出されたゴミ

ドラッグストアやスーパーの店頭から、マスクのみならず、トイレトペーパーやティッシュペーパーなど紙類や消毒薬が消えました。いつでもお店に行けば商品があるという社会に慣れてしまった私たちに警鐘を鳴らす出来事であったと思います。デマや風評に流されず、普段から適度な備蓄で「有事」への備えをしておくことが大切だと改めて感じました。

◆世界中で新型コロナウイルスの感染拡大が止まりません。いつになったら終息するのでしょうか。播磨町でも、多くの行事やイベントなどが中止となりました。また、3月3日から15日まで、中学校、小学校は休校に、幼稚園は自由登園としました。(広報発行日には新たな方針が出ていると思いますが)。中でも人生の大きな節目である「卒業式」の日程が変更になったり、大幅に縮小されたりして、在校生や来賓など多くの方々の同席が叶わなかったこと、また例年行ってきた卒業生の「呼びかけ」などを披露する場がなかったことは、大変残念に思っています。一生に一度の卒業式や卒園式、例年通り盛大に送り出してあげたかったと思っています。

◆ごみ収集において、収集車に積める以上の量を積載して収集していたことが指摘されました。作業員は積み残しや収集時間の遅れを出すことで、自治会や近隣の方々にご迷惑をおかけすることのないよう努めた結果、時に「過積載」という状況が発生しておりました。町といたしましては、確認後すぐに自治会長会でお詫びと今後の対応をご説明申し上げ、現在、予備車の活用、作業員の増員、ルート変更などで対応しております。これまでは収集場所で把握することが困難であった積み過ぎについては、「センサー装置」を取り付け、再発防止に努めてまいります。ご理解の程、よろしくお願いいたします。

播磨町長 清水ひろ子

新型コロナウイルス感染症への対策

政府から出された方針を踏まえ、また兵庫県教育委員会からの方針に基づき、子どもたちの健康を守り、感染症拡大防止のために下記の措置を行いました。

《令和2年2月28日》

1、町立小・中学校、町立幼稚園

- ・3月3日(火)～3月15日(日) 町立小・中学校を臨時休業とする
- ・町立中学校の卒業式は、3月17日(火)に時間短縮により実施する
- ・町立幼稚園については、3月3日(火)～3月13日(金)は自由登園とする

2、私立保育園

通常どおり

3、学童保育

- ・3月3日(火)～3月15日(日) 長期休暇開所時間に準じた開所とする
開所時間 8:00～18:00
延長保育 18:00～19:00
- ・感染防止のための環境を整えるため、各小学校と協議のうえ、教室を学童保育所として利用できることとする《3月2日》

●子育て支援施設《2月28日》

南部・北部子育て支援センターは3月3日(火)～3月15日(日) 休館とする

●社会教育施設など《2月29日》

中央公民館、各コミセン、図書館、郷土資料館、総合体育館および各種スポーツ施設については、臨時休館は行わず開館。ただし、一部の行事や各種教室については中止または実施の延期とする

●健康増進施設《3月2日》《3月10日》

健康いきいきセンターは県内で感染者が確認されたことから、感染拡大を防止するため、3月3日(火)～3月15日(日) 休館とする 31日(火)まで休館とする

その他、3月末までの保健事業(乳児健診、特定健診、がん検診など)、不特定多数が参加するイベントなどを原則中止または延期としました。《2月29日》

※3月10日現在の状況です。以降、状況に応じて対策本部会議を開催して対応。《》は実施を決定した日付。



教室ですごす播磨小学校学童保育所の子どもたち

北池でバードウォッチング

住民グループ ☎079(435)2364



▲いつもならたくさんのカモやサギがみられる北池

2月9日、かがやきの北池コミュニティが主催するバードウォッチングが開催されました。当日は風もなく絶好のバードウォッチング日和でしたが、北池は改修工事が行われている関係で水を抜いているため鳥の姿がなく、急遽900m北にある野々池・小池(明石市)に移動しながらのバードウォッチングとなりました。



▲ツグミ

ご協力をいただいた日本野鳥の会の会員とともに、当日確認できた鳥の名前を全員で確認したところ、カワウ、ダイサギ、カルガモ、ハクセキレイ、アオサギ、スズメ、ヒヨドリ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、コガモ、ムクドリ、ツグミなど13種を確認できました。



▲野鳥観察手帳のページをめくりながら見つけた鳥を確認

楽屋裏
昭和53年(1978)年4月に開館した中央公民館は、老朽化が目立つようになったため、7カ月にわたって利用を休止して修繕工事を行いました。2月末、工事が完了した中央公民館を内覧しました。広さ間取りはそのままですが、照明をLEDに換えたため全体的に明るくなっています。視聴覚室は音響設備を新調し、和室は炉を作って茶室としても利用できるようになりました。また、トイレにもベビーカー用が設置されました。これまでも様々な世代の人が集まり、文化活動が活発に行われる施設としてにぎわうこと(宮)

東はりま特別支援学校と福祉避難所に関する協定を締結しました

危機管理グループ ☎079(435)0991



▲東はりま特別支援学校大槻和浩校長と署名しました

「福祉避難所」は、高齢者、障がい者、乳幼児など、災害時の避難生活に特別の配慮を要する人が、良好な環境で避難生活を送ることができるよう、状況に応じて開設される避難所です。

このたび、兵庫県立東はりま特別支援学校と「福祉避難所の指定に関する協定」を締結しました。

協定の内容は、同校の一室で、トイレ、風呂などの施設を備えた「生活訓練室」を、災害時に町が福祉避難所として使用できるというものです。

※災害時に福祉避難所に直接避難することはできません。まずは、町が開設する一般の避難所へ避難してください。



ばんどう 1歳 伴藤 峻大くん(左)・晴大くん(右) (南野添)

兄弟仲良く、元気に成長しますように。生まれてきてくれてありがとう (パパ・ママより)

※撮影時の年齢です。